



# 春夏秋冬

2016  
vol. 5  
半年発行

## eco 情報

### 「食品用ラップフィルム」

普段の生活でも馴染みの「ラップ」は、避難袋に入れたい一品です。災害時は電気や灯油、水などが不足することが考えられます。

例えば、

- ・ガラスが割れてもラップを張り付けて雨や風をしのげます。
- ・寒い日には体に巻けば保温効果もあります。
- ・怪我をした時の止血にも使えます。
- ・丸めて簡易スポンジ代わりになります。
- ・ラップをねじってひもを作れます。
- ・お皿に直に敷くことで水で洗わずにお皿を使い回せます。

このような使用方法を、災害に備えて頭の片隅に入れておいてください。



色んなメーカーの食品用ラップフィルムがあります。



## 大地震の想定外を想定する

■1995年(平成7年) 阪神淡路大震災 M7.3  
家屋全壊 104,906軒 家屋半壊 144,274軒  
活断層による直下型地震。それまでの耐震基準の想定を大きく超えビルまでもが倒壊。その後の耐震基準が大幅に改正された。

■2011年(平成23年) 東日本大震災 M9.0  
家屋全壊 129,198軒  
建物の耐震・免震技術は向上したが、揺れに耐えた家屋が津波によって流された。津波の高さは想定を遥かに超え最大40mに及んだ。

■2016年(平成28年) 熊本地震 前震M6.5/本震M7.3  
家屋全壊 7,996軒 家屋半壊 17,866軒  
建築基準法の耐震基準は震度6強～7の揺れでも倒れない水準を求めているが、大地震の誘発は想定していなかった為、前震で倒壊免れた家屋が本震によってかなり数が倒壊してしました。

地震対策：  
埼玉では、地震による海や山からの災害はありませんが、家が大きく揺れる事により、  
・地震による火災の発生  
・地震による家具の転倒・破損  
・停電、断水などライフラインの停止  
などの災害を想定する事が出来ます。  
100%の安全は無いという視点で、家の中の点検をお勧めします。

## 王家菜館

中田家の嫁、王さんが教える中国の家庭料理。ぜひ試してください。



### file No.005 「黄瓜炒黒木耳 (キュウリときくらげの炒め)」

体を冷やす作用のあるキュウリ料理で暑い夏を乗り切ってください。



#### 材料(4人分)

- キュウリ……………2本
- 木耳……………10片
- ネギ……………4分の1本
- 油……………大さじ2
- 塩……………小さじ1
- 醤油……………大さじ2
- 本だし……………小さじ1

- 作り方
- ① きくらげは水で戻しておく。
  - ② キュウリは薄く斜め切り、ネギは細切りに。
  - ③ 油とネギを炒める。
  - ④ きくらげとキュウリを強火で炒める。
  - ⑤ 塩、本だし、醤油で味を調え、完成です。

## \* 三代目通信 \*

都内でシェアハウスに姉と暮らして一年半、働いていて時間のない姉に代わって、食事とお弁当の担当しているとのこと。家にいるときは考えられなかった進歩です。ちなみに弁当箱は小学生の時から愛用している10年ものです。がんばれ三代目!

## リフォームサービス



発行：有限会社 小山建設  
羽生市中央2-6-3  
☎048-561-6878  
info@e-hous.co.jp  
編集長：中田 新一

●webもご覧下さい  
<http://www.e-hous.co.jp/>

## イベント案内

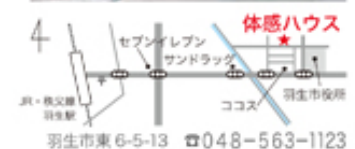


7/30(土)・31(日)  
| すてき住まいの大感謝祭  
会場：ソシオ熊谷 <http://www.socio.jp/>  
リフォームをお考えの方やメーカーが多数参加。特典満載です。



8/6(土)・7(日)  
| 夏の体感フェア  
会場：当社体感ハウス  
テーマ：「地震対策を考える」  
ご来場者に避難グッズをプレゼント

小山建設は夏涼しく冬温かい外断熱・二重通気工法「ソーラーサーキット」をおすすめしています!



## 庭の物語

Story

一口に「庭」と言ってもさまざまな種類や意味があります。庭造を通して、様式や設え、文化、言い伝えなどをご紹介します。

庭造りには、家とは違った思いがあります。今回は体感ハウスの庭をご紹介します。

## ■辰巳の門

敷地の中で一番良い位置といわれる辰巳（南東）。太陽の光を一番いい状態で受け入れる場所です。ここに門を配置して福を招き入れます。



辰巳の門

## ■一草一木一石

門を開けると正面に「桃の木」と根元には草（麦門冬）そして石の罫（つくばい：日本庭園の添置物：手水鉢）が出迎えてくれます。日本庭園のシンプルな極致が「一草一木一石」です。



一草一木一石と鬼門



鬼瓦職人が焼いた鬼面

## ■鬼門

中国の古都長安から見て北東部はモンゴルや夷狄と呼ばれた他民族の居住地で、たびたび越境して食料を強奪する蠻まきに鬼門です。中国では「桃の木」には魔除けの作用があるとされています。桃の木の下には二人の神様が住んでいて鬼が来ると待つて食べてしまうとのこと。

## ■敷石

中国の庭園にはグレーのレンガが敷き詰められています。万里の長城、北京の紫禁城、上海の豫園などなど庭にはグレーのレンガを敷きたかったのですが日本では手に入りませんでした。グレーの瓦で代用することに、その数2,500枚。植木屋さんが二人で一週間かけて敷き込みました。庭の中で一番こだわった部分です。



門の裏側から敷石がわかくやくよく見える

## ■額

塀には額を掛けようと思っていました。家が出来上がった時に自然と額の文字も決まりました。一年を通じて住みよい家という意味を込めて「春夏秋冬」。父の意見を受け入れて南から「春夏秋冬」としました。



額「春夏秋冬」

## | 地元・羽生市での取り組み

第5回

## 「相生町と村君との交流事業」

昨年から続いている相生町と村君との交流事業。同じ羽生市でも全く毛色の違う二地区、今年のテーマは「農業体験」ということで、5月15日（日）に村君の斉藤さんの協力で田植えを行いました。当日朝10時に村君の延命寺に集合（ここは昭和53年に父が造営）。小学生を中心に両地区合わせて80名が集まりました。



延命寺集合



初めての歩

最初に農家の方から田植えの説明があって、いざチャレンジ。田んぼの歩は想像を超えたものがあって足元を取られて二歩目が出ません。



まだまだ



様になってきた

どうなることかと心配していたら、始めて30分を過ぎたころには一列に並んで田植えが様になっていました。改めて子供の適応能力の素晴らしさには感心しました。



バーベキュー大会

「楽しかった」「足が痺てカピカピ」などの声を後にして、延命寺の境内にある集会所で着替えて近くのスカイスポーツ公園へ、お母さんたちが用意してくれたバーベキュー大会。焼きそば、焼き肉、ソーセージが次々と小さなお籠へ取まって、話し声すらなく黙々と食べていました。

満腹になった後はスカイスポーツ公園の目玉、30メートルのロング滑り台で盛り上がりました。

今日一日子供たちは、どのような感想を持ったのでしょうか。

今回は秋の収穫祭です。お楽しみに！

## 匠の仲間たち

わたしたちがいつもお世話になっている心強い匠たちをご紹介します。

## ▶ file no.005 羽生緑園

野本 悟史さん

## PROFILE

生まれ：昭和51年  
出身：羽生市



羽生緑園の野本さんは、東京仕込みの伝説の親方の下で最後の弟子として三年修行。その後のれん分けをしてもらい開業し羽生緑園の親方となり15年。伝説の親方下で共に働いていた野本さんの小中学校の同級生は今も相手として働いている。

体感ハウスの庭造りについて羽生緑園の親方と進めていたら、瓦をきちんと敷き詰める作業は弟子の若い二人に任せる事となった。2500枚もの瓦を規則正しく敷き詰める作業を、若い二人はコツコツと一週間を掛けて希望通りに敷き詰めてくれた。

最後に親方が誇りを持ってきてくれたのは結果に満足をした証。伝説の親方から、親方とその弟子の若い二人へ、技術はしっかりと伝わっている。

羽生緑園との仕事始めてした。